

公共施設のトイレ改修は推進計画に基づき順位付けを

市は、人にやさしいまちづくりの一環として、今議会に公共施設のトイレ改修（10施設17ヶ所）を含んだ予算補正を提案しています。いずれも、医療・福祉関連施設のほか、総合事務所や社会教育館など、特に改修の必要性が高いトイレを腰掛け便器にするものです。

橋爪委員は、8日の文教経済委員会での問題をとりあげ、市の今後の取り組みについていただきました。同委員は、「今回の改修は市の『人にやさしいまちづくり条例』に基づいて進められるべきだ。条例では、人にやさしいまちづくりに関する施策は総合的に推進するための推進計画を策定したうえでやることになっている。14市町村が合併したいま、その推進計画はどうなっているか」「改修してほしいというトイレは同じ公共施設でもたくさんある。必要性が高いものから手をつけたということだが、順位付けはどのようにしたのか」と質問しました。

これにたいして野澤企画政策課長は、「（新市の）推進計画は新年度予算編成前に策定したい。（整備すべきいろいろなものがあるなかで）トイレは、体の不自由な人がお使いになるもので、しかも他人が手を貸すことのできないものなどということをご理解願いたい。どの施設のトイレを優先的に改修するかなどのランクは6つに分けている。これは総務常任委員会でお示しする」と答えました。

合併によるサービス低下、速やかな回復措置を

……樋口委員



合併後、合併前の上越市と統一されたことにより、いくつもの行政サービスが低下した区があります。そうしたところからは、なんとか早く元にもどしてほしいと切実な訴えが寄せられています。

樋口委員は13日の厚生常任委員会で、頸城区などで自ら調べた結果に基づいて行政サービスが低下した一連の問題をとりあげました。

同委員が最初に訴えたのは高齢者の介護手当て。続いて紙おむつ助成事業、子どもの医療費助成につ

いてとりあげました。このうち紙おむつ助成事業については、「合併協議で旧上越市に統一された。これによって、頸城区などがサービス低下になり利用者が困っている。なかにはガマンしてグチョグチョになるまで使っている人がいる。速やかにサービスの高いほうにあわせるべきだ」と訴えました。

田村健康福祉部長は、「金額的にはそうかもしれないが、要介護でなくても対象になるという改善点もある。今後はいま取り組んでいるアンケートを参考にして対応してまいりたい」とのべました。

高田地区に入浴施設の整備を検討中

……杉本議員

7月末で南本町の朝日湯が廃業しました。これに関連して杉本議員は12日の厚生常任委員会で、高田地区に新たな入浴施設を求めて発言しました。

同議員は、「これで高田には銭湯が一軒もなくなった。市民からも強い要望が出されているし、市民いこいの家のような施設が高田地区にも必要だ。朝日湯のすぐ近くには、三世代交流施設があるが、例えばここに風呂を設置できないか。風呂は、単に入浴するための施設ではなく、地域の交流の場でもある」と訴えました。

これにたいして田村健康福祉部長は、「市では、上越地域医療センター病院の南側に作られる福祉ゾーンに設置できないかと検討している」と答えました。



……橋爪委員

日本共産党上越市議団ニュース

23 2005年9月18日

連絡先	杉本敏宏	524-3787	(東本町5)
	樋口良子	544-6802	(中門前3)
	橋爪法一	548-3628	(吉川区代石)
事務局長	上野公悦	530-2203	(頸城区中柳町)